



平成15年度決算満場一致で認定

巨人軍清原選手 市民栄誉賞に同意

9月定例会

平成16年第3回定例会は、8月31日に開会し、9月21日までの22日間開催しました。平成15年度一般会計をはじめ、各特別会計、上水道・病院事業会計の決算認定議案が提案され、13名の委員で構成する決算特別委員会が審査したのち、満場一致で認定しました。このほか、有功者の表彰や教育委員の任命について同意しました。また、プロ野球の清原和博選手に市民栄誉賞を贈ることに同意しました。

議員からは、郵政事業の経営形態に関する意見書など4件を提案し、可決しました。一般質問では、9人の議員が市政の重要課題について理事者の見解をただし、21日に閉会しました。

各会計の決算

特別委員会で審査

平成15年度決算認定を審査するため、8月31日に設置された決算特別委員会では、大綱説明を受けた後、関係書類の閲覧を経て9月8日から3日間審査を行いました。

委員長報告（要旨）

長引く景気低迷や地価の下落などで、市税収入は対前年度比マイナス4・5%となるなど、歳入の確保は非常に困難な状況が続いており、今後も引き続き厳しい環境が続くものと思われる。

このようななか、平成15年度も、財政健全化アクションプランの着実な実行で、事務事業の見直しや組織の改善、人件費の削減など、地方分権にふさわしい簡素で効率的な行政システムをめざした行政改革に積極的に取り組みつつ、すべからぬ通りや春木川緑道の整備、小学校1年生での35人学級の実施や乳幼児医療

意見書を可決

今定例会において議員提案による意見書を可決し、国会や内閣総理大臣、関係する各大臣に提出しました。

- ▽道路整備の推進に関する意見書
- ▽郵政事業の経営形態に関する意見書
- ▽競輪事業のさらなる改革を求める意見書
- ▽地方分権推進のための「国庫補助負担金改革案」の実現を求める意見書

【決算特別委員】

- ◎委員長 藤原 浪三
- ◎副委員長 井上 源二
- 委員 岡林 憲二
- 委員 雪本 清浩
- 委員 池田 啓子
- 委員 稲田 悦治
- 委員 中塚 久春
- 委員 石田 茂春
- 委員 山田 幸夫
- 委員 平松 忠雄
- 委員 今口 千代子
- 委員 村野 千代子

12月定例会のお知らせ

次回定例会は、12月6日（月）からの予定です。傍聴を希望される方は、市役所新館3階の議会受付までお越しください。

いつになる 山手地域の 下水道工事



【問】山手地域は、宅地化が進み、従来の農業用水路が生活排水路として利用され、水質環境の悪化を招いている。

【答】市内で整備が遅れている修斉・山滝・東葛城校区の今後の下水道整備計画は、平成13年度から神須屋町をはじめとし、順次整備に着手している。

山滝校区の牛滝地域は11年度から供用を開始し、大

沢町は農業集落排水事業で整備を進めている。内畑町は18年度から着手する計画である。

東葛城校区の相川町、塔原町は13年度から供用を開始し、河合町、神於町、上白原町は20年度から河合町をはじめとし順次整備していく計画である。

【問】河合町から土生滝町までの間には、多くのカーブがあり距離も長い。また、地区内は高低差が大きいこともあり、どのような工法で整備するのか。

【答】府道岸和田港塔原線に下水道管を埋設していく。下水道の整備は自然流下を原則としているが、高低差の大きいところではマンホールポンプを用いて整備する。

工事の方法については、下水道管の埋設の深さにより推進工法か開削工法かを

議論白熱

9名の議員が一般質問

（裏面も）

【問】現在、本市では、小学校24校区のうち5校区でチビッコホームが未設置である。

チビッコホームを 全校区に設置を

チビッコホーム

【問】現在、本市では、小学校24校区のうち5校区でチビッコホームが未設置である。



（大芝チビッコホーム）

あとのおやつも楽しみ……

【問】設置校区の中でも待機児童がでてくる校区もあるがその解消策は。

【答】応急的な措置として、1教室のままで定員を増やす方法を検討している。待機児童の多いホームについては、教室の増設が必要であり、国・府の施設整備補助を受けるための条件整備に努めている。

市立産業高等学校

中高一貫教育の導入は



まもなく100周年を迎える産業高校

【問】現在、公立学校の管理運営には改革が求められている。

【答】産業高等学校をもっと魅力ある学校にするため、例えば少子化対策の試みとして、付属中学校を設置し、中高一貫教育を導入する考えは。

【問】中学校段階での教育課程の特色のあり方も重要だが、高等学校段階はそれにも増して重要であり、100周年間築いてきた伝統をどう引き継ぐかも大きな課題となる。

【問】卒業生の就職・進学

【問】この数年の進路状況は、就職者が50%台から45%台に減少し、進学者が38%台から49%台に上昇している。

【答】この変化は、就職の求人数が減少したことも影響しているが、大学などへの特別推薦制度を活用したり、在学中に取得した専門的な資格をより高度なものとするため、生徒自らが進路選択をした結果と考えている。

【問】設置校区の中でも待機児童がでてくる校区もあるがその解消策は。

【答】応急的な措置として、1教室のままで定員を増やす方法を検討している。待機児童の多いホームについては、教室の増設が必要であり、国・府の施設整備補助を受けるための条件整備に努めている。